

壁画のある

ガソリンスタンド

私の好きな
まちなかスポット

私の家から広い表通りに出ると、青木繁「海の幸」の壁画のあるガソリンスタンドがあります。子供の頃からの風景です。

この絵が夭折した明治の洋画家の作品と知ったのは10代の頃。20代からは車に乗るようになったので、2週間に一度、給油の間にこの絵を眺めることとなり、かれこれ40年以上も見ていることに最近気が付きました。

6月のある日、初めて原画を見る機会がありました。それは抱えられるほどの小さな絵で、そのことにとてもびっくりしました。そして、1人こちらを向いている少年だと思っていた彼は、白い顔の、大きな瞳の少女でした。

今日はその報告のために、ガソリンスタンドで給油をしました。いつもと変わらぬ横目の「彼」の下で。

(江竜 美子 彦根景観フォーラム会員)



NPO 法人 彦根景観フォーラム 平成23年度通常総会の概要

日時 平成23年7月16日(土) 12時～

場所 ひこね街の駅「寺子屋力石」

- 議題 1, 平成22年度事業報告・収支決算報告
2, 平成23年度事業計画案および予算案
3, 役員の改選について

いずれも原案通り承認されました。

平成22年度は、それぞれの彦根物語(7回)、多賀「里の駅」野菜市&集い(12回)、足軽辻番所サロン芹橋生活(8回)、一圓屋敷屏風展、農家レストランぷちオープン、彦根景観シンポジウム「芹橋地区・路地からのまちづくりを考える」などを実施しました。決算額は、収入が2,704千円、支出が1,543千円でした。

なお、3名の方より彦根市地域通貨2800彦の寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

彦根景観フォーラム 入会のご案内

彦根景観フォーラムは、まちづくりを楽しむNPOです。大学教員、建築家、会社員、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。年会費6,000円 詳しくは事務局まで。

- **ブログ** <http://hikonekeik.exblog.jp> (彦根景観フォーラムで検索)
- **定例会** 毎月第2水曜日 午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも自由に参加できます。
- **お問合せ** : 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968 FAX 0749-27-1431
E-mail: hikonekeikan@hotmail.com まで



きらっと彦根 vol. 25

彦根の魅力 ★ 再発見

彦根まちづくり誌 2011年 7月17日 通巻25号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

ひこね街の駅・寺子屋力石 再興プロジェクト・中間報告

2011年1月2日に出火・焼失した「ひこね街の駅・寺子屋力石」の再興をめざして、彦根景観フォーラムは、再興実行委員会に参加し（委員長：山崎一眞（彦根景観フォーラム理事長））100万円を拠出するなどの人的・資金的支援を行ってきました。

1月から3月にかけてのべ18日に達する休日ごとのボランティアの皆様の尽力もあって、瓦礫の除去、屋根瓦の移動、焼けた柱や板の処理、屋内の清掃などの復旧作業が順調に進みました。その後、焼失した建物裏側には新たに柱を建てコンパネによる壁をつくり、屋根裏にもコンパネを張ってシートを固定し防水処理を行った結果、4月16日（土）から仮オープンすることができました。



また、“まちづくり結募金”に多くの皆様からご寄付を賜りました。さまざまなチャリティ・イベントの開催、再興応援ソング「前へ 前へ」のCDお買い上げなども加わって、5月17日現在、約450万円の募金額となりました。このご厚情に感謝して、寄付いただいた皆さま方のお名前を記載した芳名板を作成し、寺子屋力石の修復壁面に掲げました。これをもって第一期の事業は終了しました。



焼失前の姿にもどすには、屋根の母屋や束の全面的な取り替えの後に瓦を葺くこと、建物の壁の再工事などが必要です。これらは、花しょうぶ通り商店街周辺の重要伝統的建造物群保存地区指定後に、本格的な第二期事業として実施する予定です。現在の募金額は、重伝建指定後の建物の修復に用いることにし、明瞭な会計と正確で敏速な情報公開のもとで、寄付にふさわしい使い方をすることをお約束いたします。

引き続き、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

特集：彦根景観フォーラムのあゆみ
日仏景観会議・彦根会議から
世界遺産シンポジウムへ

- 足軽辻番所サロン「芹橋生活」
防災図上訓練に挑戦しよう
- それぞれの彦根物語 82
感動の軌跡 中村一雄

● 私の好きな街中スポット
壁画のあるガソリンスタンド
江竜 美子